



アルムの丘から

第 18 号

発行日 平成22年2月1日 編集・発行 グリーンアルム広報委員会

郵便番号:382-0034 住所:長野県須崎市大字仁礼7番地10 電話番号:代表026-215-2662

新年の挨拶

「気持ち一新施設一体で
より確かな地域貢献を」



理事長

町田 滋

当福祉会にとって本年は創設十年目（開業九年目）を迎える区切りの年で、気分一新でスタートです。思えば発足以来地域に愛される・地域と一体化した施設の運営を目指して歩んで来ました。

昨年是世界規模の不況の波に巻き込まれ、その上新型インフルエンザの流行が波及し、施設運営は厳しい状況でありました。介護保険法の改正により、高齢者施策が一層充実する筈でありましたが、在宅支援・独居老人対応・認知症対応・訪問介護等々スムーズな利用ができる状況とは言えません。十分なサービスを受けられるためにも関係機関と協力していくことが必要となっております。「医療・保健・福祉の一体化」

を進める当施設の理念としながらも、地域の皆さんの要望に応え、新たな課題により具体的・より効率的に取り組まなければならぬと考えております。

そこで本年は、利用者の皆さん、ご家族の皆さんの要望に一層応える施設運営ができるよう更に努力を進めます。特に、利用者さんと接するなかで、利用者さんの個性が生かされ利用者さんの命の尊さを守るケアで取り組んでいきたいと思っております。在宅ではできない個々のケアを誠実に尽くして施設におけるケアの素晴らしさを実感していただくことも大切なことだと思ひ実行に移します。

地域の皆さんがボランティア活動ができるよう開かれた施設にし、創設十年目の今年、今一度原点に立ち返って複合施設の機能が十分生かされているかを振り返るには絶好の機会と考え、地域貢献をお約束し、本年も宜しくお願い申し上げます。

施設長・管理者が代わりました

老人介護支援センター

「グリーン在宅介護支援センター」管理者 柳沢 玄



「人の数だけ人生がある」ということを仕事では教えていただきます。仕事に打ち込んできた方、人に言えない苦勞をしてきた方、何より家族を大切にしてきた方。喜びや悩みの数や大きさも、それぞれかもしれませんが、「幸福の度合いは体の自由の程度や病気の重さと同じではない」とも学ばせていただきます。人生のでこぼこを均すでもなく、比べるでもなく、よかった、と思えることを一緒に作って参れば幸いです。

ケアハウス「ピュアリッツ」施設長

老人居宅介護等事業「樅の木ヘルパーステーション」管理者 齋藤 俊一

この度、ケアハウス ピュアリッツの施設長と、樅の木ヘルパーステーションの管理者を拝命いたしました。グループホームも引続き担当させていただきます。専門の認知症介護に加え、幅広い視点からご利用者の皆様、地域の皆様のお役に立てるサービスの展開を目指していきたいと思っております。皆様のお力添えをお願い申し上げます。



特別養護老人ホーム「グリーンバルベル」施設長 角田 陽子



新しい年を迎える時と同じくして、特養の施設長という私には重すぎる任を受け日毎に責任の重さを切に感じている今日この頃です。

私が特養に着任してから2年にも満たない中で、自分に何が出来るのか、また何を課せられているのか…思いを巡らせているところであります。特養という施設は、ただ単にそこで生活をするということではなく、そこで人生の最期を見守り、その人が、その人らしく生活ができることだと考えています。この施設で、家族とともに支援できる職員の一人でありたいと願っています。自分も一看護師としてあり続け、仕事へのやりがいを感じながら、管理者として働く環境を整えていきたいと思ひます。職員のそれぞれの思いを受けながら、キャッチボールが出来る自分でありたいと思ひます。今後とも変わらずのご支援をお願いいたします。

新型 インフルエンザの 予防について

当施設では、昨年から猛威を振るっている新型インフルエンザの予防対策として、ご面会の方には次の事をお願いしております。

- ① 体温の測定
(37℃以上の方のご面会はご遠慮いただいております。)
- ② 問診
- ③ うがい
- ④ 手洗い
- ⑤ マスクの着用
- ⑥ 決められた場所の面会

ご面会をするに当たって、ご不便をおかけしておりますが、感染症予防の観点からご理解・ご協力をお願いいたします。



通所リハビリテーション ウィングラスデイケア



ウィングラスデイケアは、介護予防給付及び介護給付を利用される方々の、日常生活自立度の改善、介護者負担の軽減等を目的に、リハビリテーション、入浴などのサービスを提供する施設です。

巨大ケーキ作成中



デイケア利用者様に作成して頂いたお城です



一日の流れ

- 8:30 頃から 送迎（迎え）
- 9:45 体調チェック（血圧測定など）
リハビリテーション及び入浴 など
- 12:00 昼食、お昼寝
- 13:30 リハビリテーション、歩行練習
机上作業、レクリエーション など
- 15:00 おやつ
- 15:30 集団体操
- 16:00 頃から 送迎（送り）

営業日

月曜日～金曜日
（1月1日～1月3日までを除く）
※祝日も営業しております。

営業時間

8:30～17:15
（内 サービス提供時間）
9:45～16:00

サービス内容

リハビリ、食事、入浴、送迎、
理美容サービス など
（細かな内容はお問い合わせ下さい。）

スタッフ

医師：1名 / 理学療法士：3名
相談員：1名 / 作業療法士：4名
介護士：4名

スタッフから一言



デイケア所長/作業療法士
高橋 富士男

日ごろ、地域の皆様には当デイケアへのご理解をいただきまして、ありがとうございます。
おかげさまで、いつもたくさんの利用者様に明るく楽しくご利用いただいております。
これからも、利用者様がお元気に過ごせますように、手とり足とり、スタッフ一同、一緒に様々な取り組みを行っていきたく思います。



デイケア相談員
丸山 清

仕事を通して利用者様と触れ合うことにより、数多くの事を学ばせていただいております。デイケアの発展、私自身の発展にはまだまだ利用者様の力が必要です。皆様と一緒に頑張ってください。



デイケア理学療法士
神田 貴子

昨年の4月より働かせて頂いております。
新潟から来てまだまだ須坂について知らない事ばかりですが、皆様に色々教えて頂きながら頑張っております。
これからも須坂の方々の生活のお役に立てよう励んでいきます。

デイケア利用者様の声

平和を愛します

古希を迎えて今伝えたいこと

昨年8月政権交代という画期的な体験をしました。と同時に久しぶりに沖繩問題に接することになりました。普天間米軍基地の移設計画で課題が表面化しています。「60年安保闘争」から半世紀、50年前の青春真っ只中のあの頃の記憶が少しよみがえってきました。
第2次世界大戦の敗戦から15年、まだ生々しい戦争の記憶が消えない時、安保条約によりアメリカ軍基地の提供、さらにはアメリカの余剰農産物の輸出によって日本農民への農業経営の不安が高まりました。そして、安保改正を強行する自民党への抗議は大衆運動へ発展し、1ヶ月にもわたり国会周辺のデモは続きました。
多くの人の反対にもかかわらず条約は成立し（1960年6月19日）、日本は1952年アメリカの占領から独立していましたが、沖繩は1972年5月まで占領下におられました。この間、本土の米軍基地は縮小されました。本土の面積の1%に満たない沖繩の75%が基地となり、結果的に沖繩県民に負担が集中することとなったのです。
基地があるゆえの騒音や婦女子へのいたましい暴行事件等はニュースになりませんが、日常の苦難は殆ど報道されませんでした。私たちが無知であるときあまりに理不尽な善良な市民を窮地に陥れてしまったかの一例です。
「自分だけ我慢すれば済む」だけでは、今後を託す子や孫たちにバトンタッチをする大人たちの責任は重大と思われれます。正しい知識と適格な判断が必要とされます。安保改定50周年の今年ですが、こ

れまで地球上では戦争が繰り返され、その犠牲になるのは何の罪もない市民であり、殊に近代の戦争は婦人や子供が多く含まれていることです。歳を重ねましたが、大戦が「暗黒の時代」と言われた中で起こったことの歴史に学び、人を重視する政権に期待し、もう少しこの世においていただいで好希望でいたいと思っています。
アルムの皆さんよろしくお願致します。

感謝の心で

作詞

一、残雪残る 仁礼の里の
小高き丘に アルムの館
住みて四年の月日は ながる
長寿の宿命に 両手を合わす
ああ 感謝の心で 生きよう
今日も

二、戦後は過ぎて 唇を重ね
姉弟は近きて 一人米寿と
飯綱山を眺めて われは
生まれし故郷 亡き母徳ぶ
ああ 感謝の心で 生きよう
明日も

三、近づく春は 季節のめぐり
窓をあければ 桜並木路
スマイレ タンポポ 歩道で
まねく
ヘルパーさんから 笑顔が
かえる
ああ 感謝の心で はげもう
リハも

編集後記

100年に一度と言われる不景気などで暗い話題が多い中、明るい話題と言え、スポーツがその中の一つではないでしょうか。

今年は、2月にバンクーバー冬季オリンピックと6月にFIFAワールドカップ南アフリカ大会という大きな大会があります。

オリンピック日本代表選手はメダルを、サッカー日本代表選手はベスト4を目指して日々練習に励んでいると思います。

その選手たちが活躍し、日本全体が少しでも活気づいてくれることを願っています。

長野県では昨年最下位だった信濃グランセローズが、最下位脱出及び優勝をめざして戦っています。また、今年から「松本山雅」というサッカーチームがアマチュアの最高峰リーグJFLで戦います。このリーグで上位に入れば、Jリーグに昇格できるかもしれないという目標があります。

もし、長野県にJリーグのチームが出来れば、きっと盛り上がるでしょう。

今年は、明るい話題が多くなればいいですね。